なみき通信

桜並木学園つくば市立並木小学校　第23号　10月26日発行

TOPICS　「安心」と「夢中」のある学びを目指して　～教職員研修～

学校だより９号でもお知らせいたしましたが、本校のめざす「安心と夢中のある学校」、「児童が夢中になって学ぶ姿」を実現するために、全職員で授業づくり研修会を行っています。10月23日（金）は、つくば市教育局学び推進課の指導主事の学校訪問がありました。これまでの校内研修では、単元の構想や具体的な活動をまとめる「指導案」を職員同士で立案しました。23日訪問日の当日は、授業をお互いに参観し、放課後に職員一同で対話を通したリフレクションを実施しました。

この日の２～４時間目の研究授業では、保護者の方や地域の方の学校教育サポーターが12名、県南地区退職女性校長会から退職校長先生方５名がボランティアとして、児童の見守りをしてくださいました。そのおかげで、児童の安全管理も配慮しながら職員間での相互授業参観を行うことができました。多くの方のご協力に感謝申し上げます。

各研究授業では、今年度の授業づくりのポイント①「対話を生み出し、子どもが夢中になれる導入の工夫」、②「誰もが主役になれる対話の活性化と話し手・聞き手の目的の明確化」、③「ICT活用や振り返りの充実による質の高いアウトプットの場の設定」の工夫に溢れ、児童が意欲的に学習し、対話を通して学び合う姿が見られました。





放課後の研究協議では、各授業のよさや工夫点、改善点などについて積極的な話し合いが行われました。市教委の指導主事の先生方からは、たくさんお褒めの言葉をいただき、これから年度後半での研修の方向性を明確にもつことができました。今後も、教職員一人一人がスキルアップすると同時にチームとしての力も高め、子供たちが夢中になって学ぶような授業づくりのための研修を日々進めてまいります。

なみきトピックス　安心と夢中のある学校づくり

笑顔と歓声があふれた親子ドッジボール　～５年生親子行事～

10月22日（木）に、５年生の親子行事が行われました。学年チームに分かれて親子一緒にドッジボールをしました。力強いボールをしっかり受け止めたり、素早いボールからうまく逃げたりしたときには、歓声や拍手が起こりました。保護者の皆様も久しぶりのドッジボールに楽しんでいる様子でした。５年生の児童たちもとても楽しかったようです。お忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。また、計画・準備いただきました学年委員の保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

